

HAPPY

通信

いつも
身近に。私たちは、
プロの保険代理店です

2022年10月1日、
有限会社札幌総合保険事務所、
株式会社総合保険コンサルは
「株式会社札幌総合保険コンサル」として
新たな体制でスタートいたしました。
お客様の安全・安心に向け、
一層のサービス充実と新たな価値を
提供できるよう取り組んでまいります。
今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます。

代表取締役会長 鴻上正男
代表取締役社長 越前賢一

NATTARA
トレーニング
スクール

このQRコードで
NATTARAスペシャル
サイト (NATTARA
READING JUNGLE) へ

Webサイトには、誰もが楽しく学べる
マネジメント情報&動画を満載です



NATTARAおすすめ図書

バカになるほど、
本を読み
(神田昌典 著)

これからの時代の

「読書の仕方」を教えてください

- ネットの時代になっても知識人は本を読む
- たくさん読んで、取捨選択して、自分の考え方・意見を持つことが大事
- 人格を磨くためには、歴史の本
- 哲学書は、知識創造のベースをつくるもの
- 読書したら、行動することが大事

労働・社会保険
インフォメーション

10/2「最低賃金」の改定です！

道内の事業場で働く社員、パート、アルバイト等の全ての労働者の最低賃金が、10月2日(日)から時給920円に改定されました。
この最低賃金に通勤手当、精勤手当、家族手当等の支給有無は関係ありません。
すなわち、純粋に「時間給」の最低賃金を920円以上にしなければなりません。
ここで注意をしていただきたいのは、「月給制」で働く労働者の場合です。
月給を一か月あたりの「平均所定労働時間」で除してみてください。その結果920円を下回ることがあれば改定が必要です。
「平均所定労働時間」は、会社によって求め方に違いがありますので、お気軽にお問い合わせください。
(※特定の産業で働く労働者には、その特定産業別の最低賃金が適用されます。)

株式会社札幌総合保険コンサル
〒004-0841 札幌市清田区清田1条1丁目4番30号
電話:011-883-1000 FAX:011-883-1010 (旧札幌総合保険事務所)
電話:011-883-5667 FAX:011-883-5749 (旧総合保険コンサル)
※お電話による受付時間 平日9:00~17:00

HAPPY通信 第10号もくじ

保険TOPICS

ご存じですか

For Business
コラム

実験のすすめ

Information

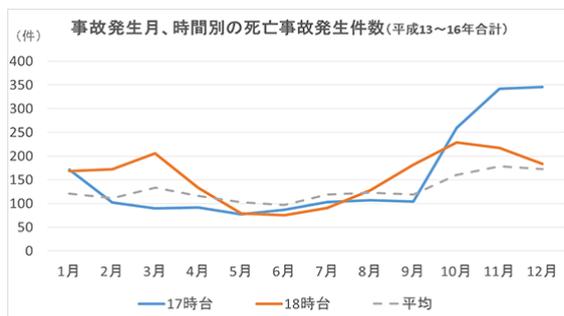
札幌総合保険コンサルスペシャル情報

役立つ保険の新知識

保険 TOPICS ご存じ ですか

最近よく聞く保険に関する話題や事例。知っている、きっと役立つ保険の新知識をタイムリーにピックアップしてご紹介します。

事故多発の 魔の時間帯



「魔の時間帯」とは、秋から冬にかけて日没が早くなる時間帯のことで、特に10月以降の17時～18時の間を指します。上記をご覧くださいても17時台と18時台で10月～12月の事故発生件数が飛び抜けて多いことがわかります。

薄暮時の安全運転では

子供やお年寄り、自転車やタクシーの動きを予測して、**飛び出しに気を付けましょう!**

より早めのヘッドライト点灯を10月1日の札幌の日没時間は**17時17分**です

運転中に少しでも「危ない」と思ったら**近づかないようにする**

当社では新しい安全運転講習実施中 ぜひご相談ください!

プロの保険代理店として、私たちは、CS（ちゃんと説明する）がモットーです。保険に関わることで、わからないこと、不安に思うことなど、ご質問・ご相談ください。

For Business コラム 実験の すすめ

活き活き企業を目指して

活気ある組織、お客さまに信頼される組織づくりを目指して、学んだことは、まずやってみよう＝「実験してみよう」の精神で、さっそく今日から始めてみませんか。成功への合言葉は、『実験』です。

●今号のテーマ

伝わりやすい 文章とは



代表取締役社長
越前 賢一

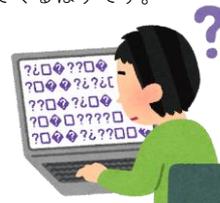
最近では、メールで文章を送ることが多くなっています。そんなときに注意し、心しておくべきことについてお話しします。

(1) 書き終えたら、**読みなおす習慣を身につける**

PCやスマートフォンなどで、思いのまま文章を書いていると、その本人の思いが五月雨式に出てきて、一気に書いてしまうと、文章がまとまっていない、感情が先に出て意図していることが明確ではない、ということになりがちです。

書き終えたらいったん読み直すという習慣を身につけることにより、冷静な自分と向き合うことができます。

また、これを読んだら読み手は、どう解釈するかな?という相手の立場を思いやる姿勢も出てくるはずですよ。



(2) **結論を先に書く、強調したい文章は下線や太文字などの工夫を行う**

わかりやすい、伝わりやすいのは、結論を先に書くことです。ただだらと先に説明があると、読み手は、まず何が言いたいのかと疑問の感情がこみ上げてきます。

結論を先に述べ、その理由について段落を分けたり、箇条書きにしたりして説明していくことで、読み手は「なるほどそういことね」と理解してくれるものです。その中で特に強調したい箇所については、下線や太字、色を変えるなどあまり華美にならない程度に工夫するといでしょう。

(3) **PCで作成したものはそのソフト機能を使い校閲を行う**

校閲も大切です。ソフトの機能を使って誤字、脱字、助詞の使い方などをチェックしましょう。誤解されない文章を書く手助けをしてくれると思います。

文章は大変大切なコミュニケーションです。読み手の立場に立って書く習慣を身につけていきましょう。

困った時の〈ビジネスお悩み相談室〉を開設しています。担当スタッフにお気軽にお申し出ください。